



学校だより

かけ橋

パート III

横須賀市立汐入小学校 校長室

2013. 10. 2

No. 13

元気でやりぬく子
すすんで学ぶ子
思いやりのある子

()の秋

先日の朝会で、「()の秋」という紙を見せて、子どもたちに尋ねました。「()の中に入る言葉は、何ですか? 答は、1 つではありません。思いつくだけ、いくつでもいいです。これかな? と思いついた言葉がある人は、立ってください。」

全校で、30 人ほど立ちました。まったく頭に浮かばない人は、座ったままです。ちょっと残念でした。テストに置き換えて考えると、無答が7割いるということになります。先日の学力状況調査の結果でも、正答率が低いことも問題になりましたが、それにも増して、無答率が高かったことも問題になっています。

周りの大人が、正答主義におちいり、「正しい答は1つ」「それをしっかり覚える」という意識で学習すると、応用がきかなかったり、学習効率が悪かたりします。それを避けるためにも、大人は、子どもらしい誤答に感心したり、学んだりしたいものです。わざと受けをねらうような誤答は問題外ですが、その子なりに、一生懸命に考えた誤答は認めてあげたいものです。

朝会では、1年生から順番に答えさせて、同じ答を言われたら座ることにしました。「食欲」「スポーツ」「読書」など順調に答が出ました。ある3年生からは、「芸術」という言葉が出ました。3年生なのに難しい言葉を知っているなど感心しました。また、ある子から「柿」という言葉が出ました。きっと、近所の柿の木に実がなっているところを見たのだなど、妙に納得しました。



職員室に戻ってきて、ある先生から、「〇〇君は、『すずしい』という言葉を書いたけど、遅かったので言えずにいました。」「すずしいの秋」となるので、繋がり悪いのですが、とても気持ちが分かる誤答だと思いました。また、他の先生からは、「高学年から、『天高く馬肥ゆる秋』と出るかと期待していたんですけど・・・」という話がありました。これも、言葉の繋がりが悪いので、正解ではありませんが、なかなかレベルの高い誤答だと思いました。

このように、誤答の良さを認めながら、無答を作らない対応を心がけています。ご家庭でも、テスト直しの時など、「どうして、こんな間違いをしたのかな?」「なるほどね。」などと言いながら、子どもとともに、誤答を味わってみてはいかがでしょうか。

学校にとっては、「行事の秋」でもあります。遠足、修学旅行、運動会、汐っこ祭り等々楽しい行事が目白押しです。また、前回もお伝えしましたが、地域の行事もいくつかあります。朝会でも、子どもたちに話しましたが、この紙面で再度ご紹介します。小学生は、保護者の方が、声をかけてくださると参加しやすくなります。よろしくお願いします。

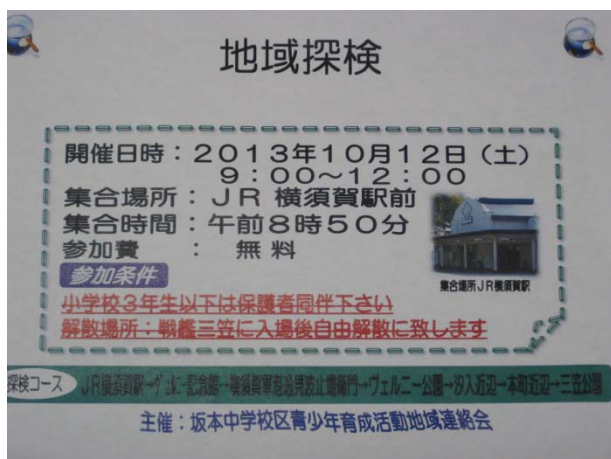
①汐入連合自主防災訓練

10月6日(日) 午前9時~正午

②坂本中学校区青少年育成活動地域連絡会主催

地域探検 (JR 横須賀駅から三笠公園まで歴史旧跡を歩いて辿ります)

10月12日(土) 午前9時~正午



読書の秋 読む楽しさ・聞く楽しさ

小学校2年生3年生と担任して、読み聞かせを続けてきた先生が、中学3年生になったその子たちにアンケートをとったところ『とにかくすごく楽しかったことを覚えている』『自分が本好きになったのは、あそこだって思ってる』と感謝の言葉を返してくれたそうです。また、その保護者の人たちからは、『子どもが、図書館連れてって、って言うからよく連れて行きました』『家でも読んで、って言うから一生懸命読みました』『そういう子ども時代があってすごくよかったです』と書いていただきました。

本校でも、ほの会の方々が、各クラスで読み聞かせをしてくださっています。年間延べ14日間、朝の会の時間を中心に、読み聞かせをやっていただいています。

10月1日(火)は、1年、4年、5年、6年の教室で読み聞かせていただきました。

- | | |
|-------------------|-----------|
| 1年・・・「からすのおかしやさん」 | かこさとし |
| 3年・・・「トッケビのこんぼう」 | チョン・チャジュン |
| 「太郎こおろぎ」 | 今西祐行 |
| 5年・・・「しあわせの王子」 | ワイルド |
| 「絵本 めだま」 | 山田洋次 |
| 6年・・・「月夜とめがね」 | 小川未明 |



上記の本で、私自身ストーリーが分かるのは、2つくらいです。子どもと一緒に読み聞かせを聞きたい気持ちになります。教室を回ってみると、どの方も工夫して読んでいらっしゃるの、子どもたちが、物語の世界に引き込まれている様子がよく分かります。

前出の先生のお話では、子どもには、聞いて理解する能力と読んで理解する能力があるそうです。聞いて理解する場合は、ある程度レベルの高い物語の世界も理解できるそうです。自分のこととして考えても、本を読む楽しさと読み聞かせを聞く楽しさは、別のもので、どちらもとても大切なように思います。

今回は、10月8日(火) 8:15～8:35 2年・3年の教室で行います。保護者の方の参観も大歓迎です。

余談ですが、5年生の教室で、「山田洋次というのは、あの寅さんの映画で有名な……。」とお話ししていたのですが、子どもたちは、キョトンとしていました。聞いてみると、子どもたちは、「寅さんの映画」を見たことがないということです。世代間格差にちょっとびっくりです。